医療法人社団 帰厚堂・社会福祉法人 敬愛会　合同広報誌

南昌だより

2016 No.25
2016年７月１日発行

熊本災害福祉チーム 本誌 P14

志和荘 本誌 P10

恒和荘 本誌 P9

こずかた保育園 本誌 P5

矢巾町地域包括支援センター 本誌 P5

シルバーリハビリ体操 本誌 P15

敬愛荘 本誌 P13

医療法人社団　帰厚堂

【基本理念】

「愛と誠の精神」

私たちは、
すべての人に感謝の気持ちをもって
奉仕いたします
また、
信頼される医療を提供するために
全ての専門職種による
チーム医療に万全を期します

社会福祉法人　敬愛会

【基本理念】

「地域と共に生き　地域と共に歩む」

私たちは、
すべての人に感謝の気持ちをもって
奉仕いたします
また、
信頼される福祉サービスを提供するために
全ての専門職種による
チームケアに万全を期し
その人らしい生活が育まれるよう
支援します

2016 No.25 Contents

2P・・・巻頭言
3P・・・職場紹介／スタッフ紹介
4P・・・こずかた診療所
5P・・・こずかた保育園
・・・矢巾町地域包括支援センター
6P・・・博愛荘
・・・熊本地震災害義援金
7P・・・博愛荘通所リハビリテーション
・・・ショートステイやはば
8P・・・敬寿荘
・・・デイサービスつむぎ
9P・・・恒和荘
10P・・・志和荘
11P・・・悠和荘
12P・・・若園荘
・・・敬愛会デイサービスセンター
13P・・・敬愛荘
14P・・・「チーム南昌」熊本地震での活動報告
15P・・・住民主体の介護予防と地域づくり
16P・・・診療案内

医療法人社団 帰厚堂
http://www.kikodo.or.jp/

社会福祉法人 敬愛会
http://www.shiwasou.jp/

地域への貢献に向けて

志和荘　施設長　村松　隆夫

◎100回目を迎える「地域応援出前講座」

地域への貢献事業（地域公益活動）は、必ずや強く求められる日がやってくるとし、帰厚堂・敬愛会の人的資源を活用した「地域応援出前講座」を開始したのは平成22年度。以来、その実績が下表のとおり確実に伸び、平成27年度末で両法人合わせて96回（延べ参加者数は2,433人）実施し、平成28年度早々開始７年目にして100回を迎えることが確実となりました。これまでご協力いただいた多くの講座講師を務めた職員に感謝を申し上げます。

年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	合計
帰厚堂	2	2	3	2	3	5	17
敬愛会	9	7	7	16	18	22	79
計	11	9	10	18	21	27	96

この事業は、地域の医療、保健、福祉ニーズに対し、地域集会等に法人職員が出向き、専門知識など暮らしに役立つ最新の情報を交え、地域の皆さまの日常生活を応援する無料講座です。

一方、高齢者をとりまく社会問題や認知症を中心に、演劇を通じて解り易く問題を指摘するなどの活動を続けてきた劇団「おたすけ」による公演活動につきましては、平成27年度は４回実施しています。この活動は、認知症になっても住み慣れた地域で生活が継続できるよう「医療、介護及び生活支援を行うサービスの有機的連携」と効果的な支援の推進に基軸をおき、メンバー職員の努力により平成15年11月からこれまで113回（延べ参加者数は7,392人）実施してきました。

◎法改正で新たな責務として規定された地域公益活動

平成28年３月31日に社会福祉法が改正になり、社会福祉法人の経営に大きく関わるものとして、地域における公益的取り組みが責務となるなど、社会福祉法人の経営組織のガバナンスの強化並びに財務規律の明確化等が主な柱となっています。

特にも、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者に対して、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に社会福祉法人が提供する「地域における公益的取り組み（地域公益活動）」が新たに法律により規定されました。

この法律改正の背景には、多様な経営主体が参入してきたことがありますが、そもそも社会福祉法人は、終戦という混乱期のなか、行政の資源は不十分であり、政府に民間資源の活用が求められ、その結果、社会福祉事業を担う責務と本来的な経営主体を行政としつつも、事業の実施を民間に委ねてきました。

この事業の公益性を担保する方策として、行政機関がサービスの対象者と内容を決定し、それに従い事業を実施する仕組み（措置制度）が設けられ、「社会福祉法人」という特別な法人格が活用されました。以後、平成12年４月から今日の介護保険制度がスタートをしたことはご承知のとおりです。

現在、この地域公益活動を効果的に実施するため、医療法人社団帰厚堂と介護・障がい施設を経営している社会福祉法人を合わせ、矢巾町内の五つの法人が、新たな地域公益活動として「生活困窮者の生活支援事業」を中心に検討を重ねています。

そもそも生活困窮世帯は複合的な課題が重なり合い、問題を解決するには世帯の生活全般をコーディネートできなければ困難と思われますし、結果として貧困からの自力脱却は容易でないことは充分承知しており、各法人の積極的取り組みが注目されています。

職場紹介

楽しくリハビリ　～在宅生活をサポート～

＝ 敬愛会老人デイサービスセンター ＝

平成３年に事業を開始した敬愛会老人デイサービスセンターですが、これまでたくさんの皆様から利用していただき、おかげさまで25年目を迎えることができ、今年の４月からは地域密着型の介護施設の仲間入りをしました。地域の中で、より皆様の身近な存在となって、法人理念の「共生の地域社会」を目指して、皆様のお役に立つ介護サービスを提供できるよう取り組んでいきたいと職員一同はりきっています！

さて、私たちのデイサービスセンターは南昌病院と敬愛荘に隣接する悠和荘と同じ敷地内にあります。周りを木々に囲まれた静かな一角にあるため、野鳥のさえずりや蝉の声が心地よい癒しの空間となっています。目の前には小さいながらも畑があり利用者の皆様と野菜作りに取り組んでいます。収穫された野菜は「おやつ作り」「芋の子汁」など皆様と料理を楽しむレクリエーション活動で活躍しています。

デイサービスセンターでは、指先を動かす創作活動や手足を動かすゲームなど遊びを通して毎日楽しくリハビリできるメニューをたくさん用意しています。全員で楽しむレクリエーションは利用者同士の交流を深める良い機会となって会話も弾みます。これからも季節を感じる行事を織り交ぜながら、利用者の皆様と家族の在宅生活をサポートしていきますので、よろしくお願い致します。

スタッフ紹介

家屋調査・必要な動作・環境整備!!

＝ 在宅生活で家族の負担軽減 ＝

介護老人保健施設「敬愛荘」支援相談員の伊東勇哉と申します。

以前は障害の施設で約10年、現場で仕事をしていました。その間に社会福祉士の資格を取得し、相談支援に興味を持つようになり南昌病院相談室で１年の勤務を経て、平成27年２月より敬愛荘の支援相談員として勤務させていただいております。敬愛荘へ勤務し約１年半が経ち、まだまだ未熟なところが多々ありますが、先輩相談員をはじめ、スタッフの皆さんからの温かいご指導を頂きながら日々の業務を行っています。今後も自己研鑽を重ねながら利用者・家族に寄り添いながら今後の生活のお手伝いをしていきたいと思います。

さて、当施設は老人保健施設であり、入所の施設ではありますがその役割は在宅生活を応援することとなっています。そのため、入所後リハビリや体調管理を行い、再度自宅での生活を続けられるようお手伝いをさせていただいています。この役割の下、在宅復帰を目指していますが、様々な家庭環境等がありスムーズな在宅復帰が難しい方々がいます。そのような状況の中、自宅で生活をしたいという利用者の気持ちを尊重し、在宅が難しいという家族と相談を重ねています。まず、具体的にどの位までの動作が可能となれば、家族の介護で生活が可能かを伺っています。また、入所前に家屋訪問を行い、自宅で生活するために必要な動作能力、環境の整備を検討し、施設生活へ反映していくよう各スタッフと相談のもとサービスを行っています。また、在宅生活を送る上で家族の負担が少しでも軽減できるよう、居宅のケアマネージャーの方と協働し必要なサービスの調整を行っています。

こうして在宅生活が可能となった利用者からの「家に帰れてよかった」や、家族の方から「難しいと思っていたが、また家でみることができて良かった。施設（敬愛荘）と自宅とを交互に利用しながら自宅での生活を続けていきたい」という言葉に、この仕事へのやりがいを感じています。今後も、利用者と家族の想いを受け止め、何でも話せる相談員を目指して日々精進して参ります。

各施設から

こずかた診療所

施設紹介 内科外来診療のほか、外来リハビリ機能の付設や通院困難な方への訪問診療などを行います。

血圧をチェックしましょう!!

血圧は、体調や環境、時間など、さまざまな要因によって変動します。そのため、自宅での定期的な「家庭血圧」の測定が重要な情報となります。自己測定をし、記録する習慣をつけ、医師に確認してもらいましょう。

高血圧の基準値は?

日本高血圧学会による「高血圧治療ガイドライン2014」では、診療所や病院で測定した「診療室血圧」について収縮期血圧（上の値）が140mmHg以上かつ/または拡張期血圧（下の値）が90mmHg以上の場合が高血圧とされています。

ただし、測定値から自分で判断することは大変危険です。必ず、医師へ相談しましょう。

［診察室血圧］140／90mmHg以上
［家 庭 血 圧］135／85mmHg以上

→ **高血圧**

家庭での血圧測定のポイントを紹介!!

朝と晩、それぞれ2回ずつ測定し、その平均値をとりましょう。

測定のタイミング

○朝は、起床後1時間以内に測定しましょう。排尿を済ませ、朝食前、服薬前に座って測定するようにしましょう。

○晩は、就床前に測定しましょう。

check!

- □ 静かで適切な室温の部屋で測定しましょう。（特に冬場は、部屋を暖かくして測定しましょう。）
- □ たばこを吸った直後、お酒、コーヒー、紅茶を飲んだ直後の測定はやめましょう。
- □ 背もたれつきの椅子に脚を組まずに座って、各測定前、1～2分間安静にした後に測定しましょう。
- □ 血圧測定は上腕で測定できるタイプを使用し、カフ（腕に巻くバンド）は心臓と同じくらいの高さになるように巻きましょう。
- □ 測定中は会話をしないようにしましょう。

自分の血圧を1週間、測定してみよう!!

切り取り

日付		/		/		/		/		/		/		/	
測定時刻		朝	晩	朝	晩	朝	晩	朝	晩	朝	晩	朝	晩	朝	晩
		:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
血圧（mmHg）	1回目	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	2回目	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	平　均	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
体重（kg）															
服薬チェック															
メ　モ（脈拍数など）															

血圧（mmHg）: 220, 210, 200, 190, 180, 170, 160, 150, 140, 135, 130, 120, 110, 100, 90, 85, 80, 70, 60, 50

血圧の心配な方は気軽にご相談ください!!

こずかた保育園

施設紹介

《こずかた保育園の特徴》

ケアセンター南昌の中で幼老交流をすすめ、入居者の皆様からは優しさを、子ども達からは元気をプレゼント、そこには自然に笑顔が広がります。また、「英語で遊ぼう!」「運動遊び」「フラワーフレンド」等の活動も、子ども達にとっては笑顔と元気の源です。

こずかた保育園は、生後2か月からの乳児保育、24時間対応延長保育、体調不良児対応型保育、休日保育、一時預かり保育等を行い、働く保護者の応援をしております。

6月時点の園児数は111名で、元気な声が園内いっぱいに広がっています。
今回は4月から6月までの行事の一部を紹介させていただきます。

☆ ねむの木公園オープニング 4月2日(土)☆

矢幅駅前のねむの木公園オープニングセレモニーに年長児と年中児が参加して、にんにんジャーや月夜のポンチャラリンを踊り、来場者の皆様からたくさんの拍手をいただきました。最後には、「忍者になって探検します」「お祭りを楽しみます」「みんなで仲良く遊びます」と誓いの言葉を述べました。これからもねむの木公園で元気いっぱい遊びたいと思います。

☆野菜栽培☆

今年も、夏野菜を屋上のプランターに、プチトマトやピーマン、ナス、ニンジンなどを植えました。6月に入ってラディッシュを収穫し、給食でいただきました。また、1階玄関近くの花壇には、サツマイモ、サトイモ、カボチャを植えました。太陽･水･土それぞれの神様に大きく育つようにお祈りしました。いまから収穫が楽しみな子ども達でした。大きくなぁ～れ↗↗

☆ 矢巾町幼年消防演習 6月12日(日)☆

天候にも恵まれる中、岩手県消防学校で行われた消防演習に、矢巾町内の年長児が心を一つにして参加しました。練習の成果を十分に発揮して、今までで一番上手にできました。今年度は岩手国体が行われることもあり、「わんこきょうだいのうた」に乗せて元気いっぱい踊り、町長さんからは、「極めて優秀」とお褒めの言葉をいただきました。

今後の主な予定
(7月～9月)

- ○7月 7日(木)…七夕まつり
- ○7月 9日(土)…夏祭り
- ○8月26日(金)…カレークッキング
- ○9月10日(土)…運動会
- ○9月15日(木)…十五夜お月見会
- ○9月30日(金)…防災センター見学

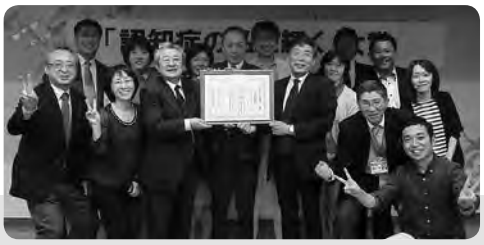
こずかた保育園お問い合わせ先／TEL.019ー698ー3008　FAX.019ー611ー0221

矢巾町地域包括支援センター

施設紹介

地域の高齢者本人や介護者家族の困りごと・心配ごとの相談窓口。社会福祉法人敬愛会が矢巾町より委託を受け運営している。

「認知症の私と輝く大賞」の受賞祝賀会を5月14日に、れすとらん文化で開催しました。高橋町長、木村理事長をはじめ、たくさんの方々に来ていただきました。その時のお祝いの言葉や激励の声を胸に、わんわんパトロール隊と矢巾町のみなさんと一緒に、これからも地域のためにますます頑張って活動していきたいと思います。



●わんわんパトロール隊(わんパト隊)とは･･･

わんパト隊は、愛犬とのお散歩時間をちょこっと利用して、地域の防犯・高齢者の見守り活動を行うボランティアグループです。特別なことをするわけではありません。日常的な挨拶や声かけで住民間のコミュニケーションを活性化させ、地域にあたたかい「見守りの輪」を広げることを目的としています。

わんパト隊員大大大募集!!! 入隊希望者はお気軽に **697-5570** までお電話ください!!

博愛荘

施設紹介

介護老人保健施設：自宅で安心安全な生活がおくれるように、医療のもとリハビリを行いながら自宅復帰を目指す施設です。

暖かい陽射しが降り注ぐ季節となり、天気の良い日には屋上や近くの公園へ散歩に行き日光浴をしながら色とりどりに咲く花を見て喜んでいます。

今年の２月に介護施設等を運営している事業所向け雑誌「月間DAY」の中の全国から寄せられた事業所での取り組みやレクリエーション、クラフトなどを毎月紹介されているコーナー**「自慢のレク・クラフト大集合」**にて博愛荘の利用者の作品が入賞し、賞状を頂き利用者の皆さんもとても喜んでいました。

私達博愛荘では、日々の生活の中で利用者の方々に楽しみを見つけて頂くため利用者に意見を聞き、スタッフでアイデアを出し合い様々なレクリエーションを行っております。又、利用者の個別レクリエーションでも昔行っていた生花や習字などを取り入れ、他の利用者やスタッフに指導して頂きながら楽しんで行われており、活き活きと生活を送っています。家族からも「昔はこんな事も趣味で行っていた。」「こんな歌が好きだった。」など情報がありましたらお気軽にスタッフへ教えて下さい。日々のレクリエーションなどに取り入れていきたいと思っています。

「自慢のレク・クラフト大集合」入賞作品

スタッフ紹介!!!

こんにちは、５月までこずかた診療所リハビリテーション科に所属し、６月より博愛荘リハビリテーション科に異動となりました作業療法士の阿部哲男と申します。今年で帰厚堂に入社してから20年目となります。今後も帰厚堂の理念である「愛と誠の精神」を胸に博愛荘入所者・利用者・家族のニーズに応えられるよう、日々精進したいと思います。今後とも、よろしくお願い致します。

博愛荘 言語聴覚士の佐々木春香と申します。今年の５月まで、こずかた診療所で外来リハビリを担当しておりました。６月からは博愛荘へ異動となり、介護保険の中での言語聴覚療法開設となりました。これから、介護保険について勉強しながら、矢巾・紫波地域の皆さんとともに、地域に根付いた言語聴覚士となれるよう努力していきたいと思います。よろしくお願い致します！

こんにちは!!

管理栄養士の阿部理香です。６月より博愛荘へ配属となりました。今年で６年目の栄養士です。高齢化が進む中、健康への意識が高まっているように感じます。健康の基本は食事です。みなさまの健康を維持・向上できるよう食事の面から支えていきたいと考えております。

お気軽にご相談ください☆

「平成28年熊本地震災害義援金」

平成28年4月14日21時26分頃（震度7）、4月16日1時25分頃（震度6強）熊本県熊本地方を震源とした大地震の発生を受けまた、4月16日に発生した震度6強の大地震を受けて義援金の募金活動を行いました。

募金金額 93,428円

1日も早い復興をお祈りいたします。

（集めた義援金は『日本赤十字社』の復興活動に役立てていただきます。）

博愛荘通所リハビリテーション

施設紹介 在宅で過ごされている要介護者、要支援者の方々に、入浴、リハビリ、社会交流などの様々なサービスを提供します。

介護老人保健施設 博愛荘 リハビリテーションに平成28年6月から 言語聴覚士 が加わりました(^-^)v

言語聴覚士を知っていますか？

言語聴覚士は、ことばの症状や高次脳機能障がいに伴うコミュニケーション障がい、食べることに関してリハビリを行う専門家です。

こんな症状はありませんか？

コミュニケーションに問題

- ことばがうまく出ない。伝わらない。
- 口が回らない。声が小さいといわれる。

口腔周辺の動きの問題

- 食べ物がうまく飲み込めない
- 口からよだれや食べ物がこぼれる
- むせることが多くなった

こんな練習をします

会話　発声
書くこと
言葉をイメージすること
コミュニケーションの補助手段を考える
口腔周辺の運動　食べることの練習
飲み込みやすい食事内容の相談　など

＊コミュニケーション、口腔周辺の動きの問題について、気になる症状があれば、博愛荘リハビリテーション科までご相談ください。

ショートステイやはば

施設紹介 短期入所生活介護（予防含）：短期間入所し食事、入浴、排泄などの介護、日常生活上の支援及び機能訓練が受けられる施設です。

青空民謡教室♪

6月になり気温も暖かくなってきました！ようやく外に出る事が出来る季節となり、ショートステイやはばでも近くの公園までお散歩に♪♪♪

近所の学生さんや、遊びに来ていた子供たちを見ながら「若いね～」と一言。皆で頷き合いながら笑顔を交わしていました。お茶とおやつをいただいた後は、民謡が得意な利用者を先生に、皆で民謡を大合唱♪大変盛り上がりました！まだまだ若者には負けてません！久しぶりのお散歩は、とても気持ちよく笑顔いっぱいでした。

ちゃぐちゃぐ馬コ!

今年も恒例のちゃぐちゃぐ馬コがケアセンターに来ました。

綺麗な衣装をまとったちゃぐちゃぐ馬コを見て**「大きいね～」「衣装の鈴は200個あるんだって！」**と馬の先導さんのお話を聞きながら皆、驚いていました。

踊り手さんの踊りを見て、手拍子されたり、こずかた保育園のお馬さんへのお礼のお遊戯を見て「かわいいねー」とお話されていました。

天気も良く、日差しも初夏で岩手の風物詩に触れることができました。

敬寿荘

施設紹介 グループホーム：認知症の高齢者が共同で生活できる場（住居）で、食事、入浴などの介護や支援、機能訓練が受けられる施設です。矢巾町在住者が対象です。

高松の池

新年度の始めの行事として、高松の池にお花見に行ってきました。毎年恒例の行事になりつつあるミニドライブですが、今年はタイミングもよく満開の時に当たり、利用者の皆さんは大変興奮され喜んでいました。一般の人との触れ合いもできるため、とても良い社会交流になっていると思いました。

マンドリン・ギターコンサート

いわて復興支援コンサートとして、各地を旅している演奏家の方々がボランティアで来荘されました。以前にも敬寿荘に、復興支援コンサートで一度来荘されていたお三方で、今回で２度目の来荘となりました。他施設の方にも声を掛け超満員の中、昔懐かしの曲が始まり、リズムに乗って歌ったり、手拍子をしながら演奏を眺めたり、泣きながら聴いている方もいて、大盛況でコンサートを終えることができました。終えてからも歌詞カードを離さないで握り締めている利用者を見て、歌の力はすごいと感じさせられるコンサートでした。

熊本地震災害派遣

派遣員　佐藤恭子

家屋が軒並み倒壊し、ニュースで見るより遥かに被害が大きい益城の町を目の当たりにして、自然災害の怖さを実感し、この町が復興するまでには、どれだけの長い時間がかかるのだろうかと思わずにはいられませんでした。そんな中、避難所では岩手から来たというだけで「遠い所からご苦労様」「岩手だって被害大きかったのに…」などとたくさんの方がねぎらいの言葉を掛けて下さいました。熊本の方々の温かい気持ちに触れ、一日も早い復興を願ってやみません。

今後の行事予定
- 7月12日（火）傾聴ボランティア来荘
- 7月20日（水）運営推進会議
- 7月28日（木）敬寿荘夕涼み会

デイサービスつむぎ

施設紹介 通所介護施設：食事・入浴などの介護サービスや機能訓練が日帰りで受けられる施設です。

～個別機能訓練のひとつである学習療法を行なう利用者が増えています～

ドリルは、くもん式のものから持参のものまで様々です。内容は、主に読み書き、計算、50音など、多種多様に用意しており、希望に応じ行なっています。学力を高めたり、問題を解くことを目的としているのではなく、スラスラ解ける問題を**満点**で解答することで、**「出来た！」**という喜びと自信、それをほめられたときの嬉しさ、そしてなにより笑顔になっていただくことが最大の目的です。

アートフェスタ

５月、田園ホールで開催された「アートフェスタ」を見学。町内外のサークルや個人の方の素晴らしい手作り作品が多く展示されており、中には「あら、私のお友達の作品だわ！」と思いがけない発見も。ゆったりと静かな空間の中で、どの利用者もとても満足げな表情をしていました。これからも、地域の施設へ足を運び、交流を重ねていきたいと考えています。なお、少人数で約一週間通い続けた私達に、田園ホールの職員さんは車の乗り入れのお手伝い等、毎回あたたかく出迎えてくれました。感謝申し上げます。

フォトコーナー

南昌病院裏の庭園にて

恒和荘

施設紹介

小規模多機能型居宅介護事業所：小規模な住宅型の施設で、通いのほか、訪問、短期間の宿泊などを組み合わせて食事、入浴などの介護や支援が受けられる施設です。盛岡市在住者が対象です。

恒和荘6周年目の春は展勝地の花見から始まりました

お陰様で恒和荘も5月1日で6周年目を迎えることが出来ました。これもひとえに、皆様のお陰と感謝申し上げます。今後も地域の皆様と共に在宅で頑張る利用者、家族の応援団として努めていきます。

4月22日、天候にも恵まれ満開の花見日和でした。利用者20名と二組の家族、近所の方お一人の参加もあり、渡し舟で川からの花見やイベント、屋台など満喫し、花巻金婚亭での昼食でしたが、皆様疲れも見せず、元気に一日を楽しみました。

この日の感激を利用者が詩に詠んでくださいました。

展勝地
母も一緒に赴きて
桜と共に笑顔を咲かせり
初めての
桜並木を進みたり
花こぼれてる春を満喫
愛美

盛岡第三高等学校 マンドリンギター部 37名
岩手女子高等学校 合唱部14名の皆様来荘!!

２週続けてすばらしい演奏や歌とともに楽しい会話やゲームで、若いエネルギーをいただきました。そこで、来荘の女子校生に、高齢者に対する意識調査に協力いただきました。

❶高齢者のどんな表情が好きですか　「笑顔」と答えた方　51人中49名
❷身内以外の高齢者と交流を持ったことがある　「持ったことがある」と答えた方　51名中44名
❸今後高齢者の方と交流を持つとしたら　「遊びたい」20名「お話したい」14名　等
❹高齢者のイメージは色に例えるとどんな色ですか　1位 オレンジ 13名　2位 紫 11名
3位 ピンク 5名 その他明るい色が並びました。

どの設問にも全員に解答をいただき、若者の高齢者を暖かく見守っている気持ちが伝わってきました。皆様、ご協力ありがとうございました

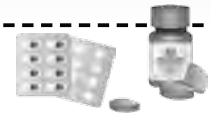
☆地域活動に参加してきました☆

5月26日
田植え
山王小学校4年生の田植えに参加! 近所の石川さんの御指導で生徒さんと一緒に田植えのお手伝いをしました。秋の稲刈りが楽しみです。

5月30日　町内クリーン作戦
職員と共に朝早くから周辺のごみ拾いをしてきました。お疲れ様でした。

6月11日
チャグチャグ馬っこ見物
今年は4名の方が八幡神社の境内に陣取りゆっくりと見物できました。馬っこの衣装に見とれたり、小さいお子さんとの交流もでき終始楽しいひとときでした。

研修 介護職のための薬の知識



病気の治療に必要なものですが、その反面副作用があります。特に、高齢者はいくつもの病気を抱え、複数の薬を内服しています。しかし、加齢により肝臓や腎臓機能が低下し、代謝や排泄が上手くできないため、薬が効きすぎたり、副作用が出やすい状態にあるとのことでした。発疹や発赤、便秘や下痢、眠気や不眠、頭痛、眩暈等副作用も様々です。高齢者の身体と薬の関係をよく理解し、正しい知識を身につけることが大事だと感じました。また、最近では医療行為の解釈が変わり介護職も薬の事を知らずに介護ができない時代になりました。普段は看護師に任せているのが現状ですが、興味を持って実践し、より適切なサポートが提供できればと思いました。

（平野）

みんなが知っておきたい 障害者差別解消法

この法律では、障がいのある人とない人とが平等の機会が得られるよう、差別の解消に向け、禁止事項や問題解決の仕組みを定めており、平成28年4月より施行されました。障がいを理由に店への入店、サービスの提供を断れた、アパートを借りようとしたが障がいを理由に断られた。などで困ってはいませんか。障がい者に対する差別の無い、豊な社会作りを私たちで考えていきましょう。

志和荘

施設紹介　特別養護老人ホーム：常に介護が必要で自宅では介護ができない方が対象の施設です。

【あやめ町焼肉パーティー】

５月９日（月）、ユニットにて焼き肉パーティーを開きました。「焼き肉食いてぇな～」という入居者さんの声から実現しました。牛肉、豚肉、えび、にんじん、玉ねぎ、ピーマン、しいたけ…そして、白飯！！なかなか食べることのない焼き肉ですが、匂いとお肉の美味しさにご飯があっという間になくなっていました。

とても満足した様子で、最後は得意の18番の歌で締めてくれました。

【感染症予防　法人研修】

５月19日（木）、志和荘にて感染予防の職員研修を行ないました。

嘔吐者がユニット内から出たという想定で実際にユニットを使用し、職員一人ひとりの動きを確認しながら行ないました。また、使い捨てタイプの予防衣や手袋や帽子等全員が着用し有効なガウンテクニック法についても学びました。

感染症の蔓延を防止するために、介護・看護・栄養士等多職種の連携を密にし、知識・技術を深めていかなければならないと改めて感じました。

【三寿司　志和荘店開店!】

５月26日（木）、今年も三寿司さんが志和荘に来てくださいました。

“三寿司志和荘店”の開店です！職人さんが握るお寿司を見ながら「見事だ！やっぱり職人だな～。」と感激していました。お寿司を頬張り「んめ！んめ～な～。」と大好きなネタをおかわりする入居者もいました。

毎年、志和荘に来て頂き、入居者の皆さんも楽しみに待っている三寿司志和荘店、早くも来年の開店を心待ちにしています♪

【ユニット対抗輪投げ大会】

６月９日（木）、『志和荘家族会杯　第21回ユニット対抗輪投げ大会』が開催されました。各ユニットで練習を重ね、大会に臨みました。輪投げの選手は３名、５本の輪が入った点数を競い合いました。輪投げに集中するあまり前のめりになり、職員２人が支え投げた方もいました。また、“輪投げ”ならぬ“輪入れ”や、“ワンバウンドからの８点入れ”などの秘技も繰り出されました。そして忘れてはならないのが、輪投げの選手の他にもう１名！ボーナス点のクジ引きをする選手です。最高得点は20点なので、逆転のチャンスも充分にあります。

緊張したり、笑ったり、喜んだり、悔しがったり…。楽しい１日でした。

成績は、１位ききょう町・２位すずらん町・３位たけの町・応援賞はまつ町でした！惜しくも上位入賞を逃したユニットの皆さんも、来年は１位めざして頑張りましょう！！！

悠和荘

施設紹介

地域密着型介護老人福祉施設：地域密着型の施設です。入所は矢巾町の方限定ですが、短期利用はどちらの方でもご利用できます。先ずはご相談を！

★悠和荘大運動会　5月12日★

今年で大運動会も第９回目となりました！　今年は玉入れと棒叩き・おやつリレー・職員の輪投げを行いました。普段から体を動かしている人も動かしていない人も皆さん一生懸命頑張りました!!!【がんばれ！　しっかり（怒）楽しい（笑）】今年の優勝は紅組。【おめでとう！】準優勝は白組。【おめでとう！　来年は優勝目指して頑張ろう!!】【職員の皆さん！　輪投げが下手ですよ!!　もっと練習して上手くなりましょう!!!】

★避難訓練　6月9日★

夜間想定を実施！　消防署の方々にも来荘してもらいました。今回は新人職員を対象に実施しましたので安全配慮のため入居者は参加せず職員が入居者さん役を行いました。【消防署の人がいると緊張する（汗）上手く出来るかな（不安）大きい声出すんだよ（不安）】本番を迎え皆さん真剣に取り組み頑張りました。【パタパタ（汗）ワタワタ（汗）バタバタ（汗）】消防署の方から高評価を頂けました。【(笑顔)】

★創作活動　4･5･6月★

５月は５日に入居者と桜と菜の花作り！　幹になる部分を棒状に丸めて花部分に千切った折り紙を張り付けました。【上手く出来ねぇ（涙）手伝って（悲）糊で手がベタベタ!!】完成した作品はホールに展示しました。【上手く出来たもんだ（笑顔）キレイ（笑顔）】19日はさくらの船の方々と作品作り！　白い紙にスポンジや生地に束を使って絵の具で色付けをしました。【手が緑に…（苦笑）服が汚れてないか（不安）何に使うんだ?】何が出来上がるかは楽しみに!!!

★園芸活動　4･5･6月★

４月は花壇の草取りや石拾い！　介護職員と入居者とで行い花壇を整備しました。【土いじり楽しい（笑顔）手が汚れた（涙）】今年もマッサージ師が耕運機を使用して花壇を耕してくれました。【難しいね（苦笑）】５月は６日に花苗を購入し7日に老人クラブの方々と一緒に花植え！雨の中ビショビショになりながら頑張りました。【疲れた！　服が濡れて気持ち悪い!!】終わったら皆さんで温かいお茶で一服しました。【温まるねぇ（笑）】18日はさつまいも・31日はその他の野菜や果物を植えました。指導してくださった皆さんありがとうございます。【初めてにしては上手く出来た（笑顔）上手く育つと良いな！】

若園荘

施設紹介 グループホーム：認知症高齢者が共同で生活できる場（住居）で、食事、入浴などの介護や支援、機能訓練が受けられる施設です。盛岡市在住者が対象です。

≪社会的役割と生きがい≫

地域の方々と交流する機会をもち、活動の中に利用者の役割を見つけ、利用者と地域の方々との関わりを深めていきたいと考えています。「誰かの役に立った」という心地良い充実感を得、「生きがい」と「楽しみ」のある暮らしのお手伝いが出来ればと思っています。また、地域の方々には認知症や障害のある人との交流を通して、認知症などの疾患をより身近に感じ学んでいただける機会になることを願っています。

若園町子供会資源回収

３名の利用者に参加を願い、それぞれの持ち味を発揮しています。

子供好きのＡ氏は「頑張ってるね～大丈夫？」と子供の頭を撫でて愛情を注ぎ、Ｂ氏は仕事の段取りについて指示を出し、身体を動かすことが好きなＣ氏は人一倍働く…という自然にできた役割でした。

若園町内朝清掃

毎月第一日曜日の早朝に行われている町内の清掃活動に参加させていただき、地域の方々とのふれあいを楽しみにしています。

ボランティア募集

家族ボランティア、地域のボランティアの皆様、日頃より当荘運営に理解と協力をいただき有難うございます。今後も皆様のお力添えを宜しくお願い致します。

若園荘では随時ボランティアを募集しています。

●●● **若園荘行事** 7月23日 若園荘夏祭り ／ 8月 盛岡さんさ踊り見学 夕涼み会 ／ 9月 敬老会 ●●●

敬愛会デイサービスセンター

施設紹介 通所介護施設：食事・入浴などの介護サービスや機能訓練が日帰りで受けられる施設です。

季節の変化を身近に感じられるカレンダー作り

敬愛会デイサービスセンターでは、週変わりで様々なレクリエーションを提供しています。今回はその中のカレンダー作りをご紹介します。

毎回、季節をモチーフにしたカレンダーを作成し、次の月の初めから使えるように配布しています。

自宅でも振り返って見られるようにリボン綴りにすることで、身近で季節の変化を感じられるようにしています。また、手先を動かし頭で考える事で、脳の活性化を図りながら楽しんで作成できるよう職員がお手伝いしています。

利用者の方の中には、創造力を働かせて、独創的で素敵な作品を作りだす方もおり、職員も毎回感心しながら活動しています。

敬愛荘

施設紹介

介護老人保健施設：病状が安定し、リハビリに重点をおいた介護が必要な方が対象の施設です。入所等の相談は支援相談員までご連絡ください！

行事風景 ～めんこい来荘者に笑顔いっぱい～

チャグチャグ馬コ ～親子のかわいらしい馬コと踊りもきれいな姉コ～

親娘馬
姉コと一緒に

6月6日、南部盛岡同好会チャグチャグ馬コ矢巾支部の皆さんが来荘され、踊りを見たり、きらびやかな飾りをつけた親子の馬コとのふれ合いをしました。この日はチャグチャグ馬コの通説通り好天に恵まれ、6月とは思えないほどの暑い日でした。

日差しが強く気温も高い日だったため体調面が心配になりましたが、利用者は麦わら帽子と手ぬぐいを身につけ、自分の前に馬が来ると、手を叩いて喜んだり、笑顔で手を振っていました。姉っコさん達の踊りを見て一緒に手踊りをしたり歌ったりして楽しみました。見終わった後に利用者から「めんけがったぁ～」、「昔見ていたが最近は見れなかったから、今回久しぶりに見られて嬉しい」と懐かしむ声や笑顔でいっぱいでした。昔は農業の働き手として馬を飼っていた利用者が多く、「エサの草刈が大変だった」等若い頃を思い出す機会にもなったようです。岩手の初夏の風物詩を間近で見ることができ、利用者、職員とも貴重な体験となりました。

誕生会 ～小さくめんこいながらも躍動感いっぱいの歌と踊り～

毎月誕生会を開催し、誕生者をお祝いしています。4月は感染対策のために職員で利用者をお祝いしました。5月25日には「ふどうこども園」の園児達が来荘し、5月生まれの利用者をお祝いしてくれました。6月15日には「煙山保育園」の園児達が来荘し、6月生まれの利用者のお祝いをしてくれました。園児の皆さんは、余興として歌と踊りを披露され、小さくかわいらしい体を一生懸命動かして元気いっぱい歌ったり、踊ったりしていました。中々見る機会のない小さな子供達の姿に感動され涙ぐんでいる利用者もたくさんいらっしゃいました。利用者との触れ合いでは1対1で向かい合い歌に合わせて手を握りあったり肩もみをしたりして皆さん気持ちよさそうな表情や笑顔が見られました。誕生会の後利用者から「かわいかった」、「いっぱい肩もんでもらった」等感想を話しながら笑顔で思い返していました。お誕生日を迎えられた利用者、いつまでもお元気で楽しく過ごしていきましょう。あらためておめでとうございます。

元気いっぱいの演技
笑顔で触れ合い

合同防火訓練 ～備えあれば憂いなし～

6月2日、日中の火災発生を想定した防火訓練が行われました。火災発生時における施設内外への連絡、初期消火、利用者の避難誘導、南昌病院からの応援への指示等を訓練しました。訓練の様子を矢巾分署の消防署員が立会いのもと、全職員緊張感を持って取り組みました。訓練中は職員間で声を掛け合い、利用者にも緊張や不安がないように声を掛けながら安全かつ速やかに誘導しました。

今回の訓練では初期消火により鎮火することが出来たため避難も屋内のみでした。最後に消防署員より総評していただき、良かった点、改善点等の指摘を受けました。火災や災害は決して起きてほしくはありませんが「いざ」という時の心構え等をしっかり持って利用者、職員の安全が守られるよう防火管理委員会を中心に引き続き努力していきます。

緊張感を持って消火活動・避難誘導

一人ひとりに合った支援 リハビリテーション

専門スタッフがチームを組んで集中的にリハビリを実施

365日リハビリテーション提供（回復期リハビリテーション病棟・地域包括ケア病床）!!

南昌病院・こずかた診療所・敬愛荘・博愛荘・訪問リハビリテーションこずかた……

リハスタッフ総勢96名（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）（ほかに臨床心理士2名）

岩手県災害派遣福祉チーム 第二次チーム「チーム南昌」

熊本地震での活動報告

介護老人保健施設敬愛荘　支援相談員　小泉　進

はじめに～岩手県災害派遣福祉チームとは？

東日本大震災の教訓を基に、岩手県では福祉関係団体とともに「岩手県災害福祉広域支援推進機構」を設置し、大規模災害時に避難所等において要援護者の福祉・介護等のニーズ把握や応急支援などを担う「災害派遣福祉チーム」の取組を進めている。研修を受けた社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、保育士等の福祉専門職が４～６人で１チーム構成する。現在岩手県では234人がチーム員として登録している。

派遣までの流れ

４／14（木）熊本県熊本地方を震央とするM6.5の地震が発生。その翌日に岩手県より熊本県へ災害派遣福祉チームの派遣を打診したが熊本県からの派遣要請が来たのは４／26（火）となる。先遣調査班として４名が４／28（木）に現地入り。事務局より帰厚堂・敬愛会に所属するチーム員に対し派遣依頼があり、「チーム南昌」が５／１（日）～５／６（金）まで活動する第２次チームとして組織される。

活動内容

活動場所は熊本県益城町「益城町総合運動公園」内にある「益城町交流情報センター（ミナテラス）」で約200名が避難。乳幼児～高齢者が混在し、廊下、玄関にまで溢れている状態。ミナテラスは益城町が管理運営しており、岡山県保健師チームが常駐。また熊本ＤＣＡＴ（災害派遣福祉チーム）が活動開始していたため、その後方支援の役割を担うこととなる。

同避難所に限らず、被災地では多くの支援団体が活動しており、聴き取りが重複したために避難者からのクレームが発生。５／１からニーズの聴き取り調査を中止。聴き取り調査ができない中で、避難者

左から敬愛荘　社会福祉士　小泉進（リーダー）
下　志和荘　介護支援専門員　佐々木節子（サブリーダー）
上　博愛荘　介護福祉士　新居俊文
矢巾町地域包括支援センター　社会福祉士　関向祐也
グループホーム敬寿荘　介護支援専門員　佐々木恭子

への声かけや要望を汲み取るための巡回を始めるが「誰が・どこにいて」「どんな困りごとを抱えているか」「避難所には何があって、何が足りないのか」等分からないことが課題として明確になる。これは３次チーム、他の支援団体にも共通して生じる課題と考え、避難エリア内の人・支援の見取り図となる「支援マップ」の作成に取り掛かる。また、避難者から得た情報を次の支援者に繋いで行くための「健康調査票」を作成し、同避難所で活動している岡山県保健師チームと共有することで聴き取りに重複や漏れがないようにした。そして避難所内には相談を受け付ける窓口が未設置だったため、困ったことがあればとりあえず相談に来てほしいという狙いから、福祉相談コーナーとして「さしより相談処」（「さしより」とは熊本の方言で「とりあえず」の意）を設置。その他にも自衛隊が設置する簡易浴場での入浴介助、避難所内の設備や衛生環境の整備として、消毒用アルコールを各部屋に設置、身体障害者用トイレの表示の工夫・使用方法の表示を行い、外部団体（益城町包括支援センターや日本介護福祉士会、熊本県福祉介護用品協会等）と連携し、支援を繋いでいくためのネットワークを構築する活動を行った。

現地での活動期間中、医療・保健・福祉分野の様々な団体と接する機会があったが、多くの活動期間は３～５日で次のメンバーへ引き継ぐ体制だった。支援活動で重要となるのは「情報」と「連携」であり、メンバーの入れ替わりの中でいかにこの二つを後続チームと他団体へ繋ぐことができるかが避難者の「今の暮らし」と「これからの暮らし」に大きく関わってくるポイントであり、２次チームとして支援の基盤整備とネットワーク形成という成果を残し、一定の役割は果たせたかと思う。

災害対策への提言

今回、熊本県からの派遣要請が発災後２週間の時間を要した。初動の遅れは災害関連死へ繋がる恐れがあるものの、被災地は現地の対応で精一杯なのが現状だった。被災県からの要請がなくても即時に派遣できるシステムの法整備と、各支援団体が専門性を発揮するためのコーディネーター（調整）役とチーム内の連携が不可欠だと感じた。

また大規模災害の際には、平時からの備えとして要援護者のリスト作成や避難支援計画、福祉避難所としてのマニュアル作成、福祉事業所や住民による地域での支えあいの仕組みづくり等が十分に行われているかが重要になる。私たちの住むこの地域でも、平時から、そしていざという時にも「住む人に優しい街づくり」が求められる。

住民主体の介護予防と地域づくり

～「岩手県シルバーリハビリ体操指導者養成事業」への協力を終えて～ その①

平成27年度より、岩手県の介護予防事業として、「シルバーリハビリ体操指導者養成講習会」が始まりました。この講習会では、一般の方が体操指導のボランティアとして活動するために必要なことを学ぶことができます。講習会は計6日間で、骨や筋肉の名前を覚えるための講義（解剖）や、“キモ”となる「シルバーリハビリ体操」の実技などが行われます。6日間の内容を全て修了すると、岩手県知事からの認定証が交付され、シルバーリハビリ体操指導者（以下、指導者）として活動することができます。

指導者は、地域における住民同士の支え合いの仕組みを動かす担い手として、それぞれの地域の寄り合い場所やサロン等において、その地域で生活する高齢者と一緒に体操を行うなどの活動を展開します。それによって高齢者の健康増進が図られ、介護を要する状態になる方が一人でも少なくなったり、あるいは、できるだけその時期を遅らせたりといった効果につながることが期待されます。この指導者養成の仕組みは、茨城県で10年以上にわたって取り組まれてきたことをモデルにしていますが、実際に取り組んできた茨城県は、その効果について次のようにまとめています。

●地域に与える効果として、

- **要支援1･2、要介護1の認定率は、高齢者に対して体操指導士（岩手県では指導“者”だが、茨城県では指導“士”と呼称）が多い市町村ほど低い傾向がある。**
- **更に平成18年度と23年度を比べると、指導士数が多い市町村は認定者数が減少傾向がある。**

●住民一人ひとりに与える効果として、

- **体操教室に参加している高齢者は、体が楽になったというだけでなく社会参加が増えた。**
- **指導士自身も、活力年齢が暦年齢に比べ、男女併せて9歳も若返る。**

ここから見えることは、体操の指導を受ける高齢者（支えられる側）がいきいきと元気に生活するのはもちろんのこと、実は、ボランティアとして活躍する指導士自身（支え手側）の活力向上にもつながり、多くの住民の健康寿命の延伸が実現されているということです。

岩手県では、今年度（平成28年度）も数箇所で講習会が開催され、新たな指導者が誕生しております。私ども、盛岡南部地域リハビリテーション広域支援センター（南昌病院）も、紫波町を会場にして開催された紫波町、矢巾町合同の指導者養成講習会に協力参加いたしました。また、矢巾町の運動教室においても、「シルバーリハビリ体操」を導入し、普及するよう取り組んでおります。（写真）

茨城県では、現在、指導士の数は7,300人を超え、茨城県内全ての市町村で活動しているということです。岩手県ではまだ始まったばかりですが、茨城県をお手本に、今後も指導者の輪がどんどん広がることを期待したいと思います。（次回は、「シルバーリハビリ体操」についても詳しくご紹介いたします。）

南昌だより

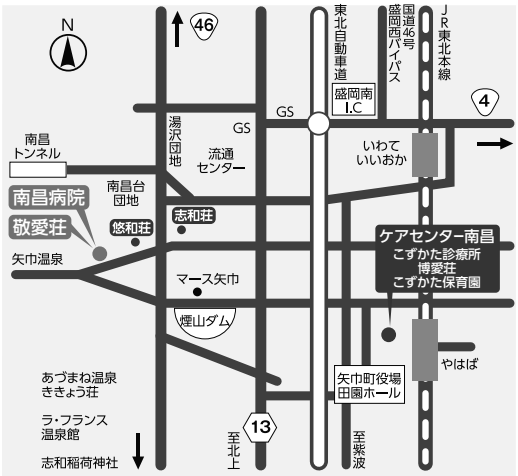
■編集・発行／医療法人社団帰厚堂　〒028-3621 岩手県紫波郡矢巾町広宮沢1-2-181　TEL 019-697-5211　FAX 019-697-5215
E-mail kikodo@kikodo.or.jp
■印　刷／杜陵高速印刷株式会社　〒020-0811 岩手県盛岡市川目町23-2 盛岡中央工業団地　TEL 019-651-2110

維持期のリハビリ　こずかた診療所 から 南昌病院 へ

南昌病院で行っています!!　―外来リハビリ―

維持期の外来リハビリは、本年の診療報酬改定により平成30年3月末で廃止され、介護保険へ移行されることとなります。今まで、「こずかた診療所」で行なっていた維持期の外来リハビリは、平成28年6月から「南昌病院」で実施しています。

矢巾町エリア



盛岡市エリア

南昌病院診療案内　診療時間 9：15~17：00

月	神経内科	佐藤 典子
火	内　科	小原　進
水	脳神経外科	山口 一彦
	循環器内科	西城 精一
木	脳神経外科	齊木　巌
金	外　科	菅野 千治

こずかた診療所診療案内　診療時間 9：00~17：30

内科・リハビリテーション科

月～金	内　科	三浦 秀悦
月・火（午前）・金	内　科	足澤 輝夫

休診日：土曜・日曜・祝日

編集後記

◆熊本で地震が起きました。震度7の地震が2度も同じ場所で起こりました。大きな揺れで建物に甚大な被害が出ました。熊本地震災害による岩手県災害派遣福祉チームとして、当法人に岩手県から派遣要請あり、急遽、「チーム南昌」として5人を派遣することとしました。（本誌P14）活動場所は熊本県でも一番被害大きかった益城町です。まだ、余震も続く中、5月1～6日の大型連休真っ只中ではありましたが、東日本大震災時の経験を踏まえて勇躍支援に向かいました。

◆当法人（帰厚堂）が、紫波警察署から「全座席シートベルト着用・早め点灯モデル事業所」として指定されました。そこで、これを機に安全運転を更に徹底するため、当法人が所有する車に、「安全運転推進者－全座席シートベルト着用・早めライト点灯」のマグネット式ステッカーを作成しました。これを全車に貼り付け、運転者の安全への意識を高め、更なる安全運転に努めています。

医療法人社団 帰厚堂	■南昌病院	〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-2-181	TEL 019-697-5211	FAX 019-697-5215	
	■介護老人保健施設 敬愛荘	〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-2-181	TEL 019-697-3288	FAX 019-697-0641	
	■小規模多機能型居宅介護事業所 恒和荘	〒020-0805 盛岡市東新庄1丁目7-23	TEL 019-681-4166	FAX 019-604-1120	
	■グループホーム 若園荘	〒020-0886 盛岡市若園町8-11	TEL 019-601-5501	FAX 019-604-1660	
	■ケアセンター南昌	〒028-3614 紫波郡矢巾町又兵エ新田5-67-1	TEL 019-698-2015	FAX 019-611-2071	
	◆こずかた診療所		TEL 019-698-3033	FAX 〃	
	○訪問リハビリテーションこずかた	〃	TEL 019-611-1380	FAX 〃	
	◆介護老人保健施設 博愛荘	〃	TEL 019-698-2015	FAX 〃	※
	◆博愛荘デイケアセンター	〃	TEL 019-697-1526	FAX 〃	
	◆デイサービスつむぎ	〃	TEL 019-698-2015	FAX 〃	※
	◆訪問看護ステーションやはば	〃	TEL 019-698-1388	FAX 〃	
	◆ヘルパーステーションやはば	〃	TEL 019-698-1385	FAX 〃	
	◆訪問入浴介護やはば	〃	TEL 019-698-1385	FAX 〃	
	◆やはば指定居宅支援事業所	〃	TEL 019-697-0537	FAX 〃	
	◆ショートステイやはば	〃	TEL 019-698-2015	FAX 〃	※
	◆グループホーム 敬寿荘	〃	TEL 019-697-9002	FAX 〃	
社会福祉法人 敬愛会	▲こずかた保育園	〃	TEL 019-698-3008	FAX 019-611-0221	
	▲矢巾町地域包括支援センター	〃	TEL 019-611-2855	FAX 019-611-2937	
	●特別養護老人ホーム 志和荘	〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-100	TEL 019-697-6355	FAX 019-697-6356	
	●地域密着型介護老人福祉施設 悠和荘	〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-2-312	TEL 019-698-1661	FAX 019-698-1671	
	●敬愛会老人ディサービスセンター	〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-2-514	TEL 019-697-5953	FAX 019-697-7680	
	●指定居宅介護支援事業所	〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-2-312	TEL 019-697-0880	FAX 019-698-1671	
	●矢巾町地域包括支援センター さわやかハウス相談室	〒028-3615 紫波郡矢巾町南矢幅14-78	TEL 019-697-5570	FAX 019-697-5570	

※ケアセンター南昌代表電話